

1. 作業名 (機械・設備)	2. 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害	3. 既存の災害防止 対策	4. リスクの見積り			5. リスク低減措置案	6. 措置案想定リスクの見積り			7. 対応措置		8. 備考 (残留リスクについて)		
			頻度	可能性	重大度		リスク	頻度	可能性	重大度	リスク		対策 実施日	次年度 検討事項
回収 (汚泥)	汚泥を回収する時、マスクを着用していないため汚泥槽内の刺激性異臭により、作業員が中毒になる。	エアアーの送り込み	2	4	6	Ⅳ (12)	エアアーの送り込みと防毒マスク着用	1	1	6	Ⅲ (8)			
回収 (汚泥)	回収作業中、保護メガネを着用しないため、汚泥が目に入る。	作業手順書で着用指示	2	4	3	Ⅲ (9)	着用の義務化 (未着用者の作業禁止)	1	2	3	Ⅱ (6)			
回収 (汚泥)	保護手袋を外して作業中、手が有機物に触れ薬傷を負う。	作業手順書で着用指示	2	4	3	Ⅲ (9)	着用の義務化 (未着用者の作業禁止)	1	2	3	Ⅱ (6)			
回収 (汚泥)	ドラム缶の回収時、蓋が外れて汚泥が飛散し、顔に薬傷を負う。	口頭注意	1	2	3	Ⅱ (6)	最初に蓋の閉まり具合を確認 (作業要領書に記載)	1	1	3	Ⅰ (5)			
回収 (汚泥)	汚泥吸引中、モーター車のホースが蛇行し作業者の体に激突し、全身を打撲する。		2	4	6	Ⅳ (12)	ホースをまつすぐに伸ばす	1	2	6	Ⅲ (9)			
回収 (汚泥)	汚泥を回収する時、無理な姿勢が続き腰痛になる。	口頭注意	2	4	6	Ⅳ (12)	一定時間での作業者の交代	1	2	6	Ⅲ (9)			
回収 (医療廃棄物)	廃棄物を台車で院内運搬中、荷崩れして作業者の足に激突し、打撲する。		2	2	1	Ⅰ (5)	ゴムバンド or ネットで固定	1	1	1	Ⅰ (3)			
清掃 (廃液)	タンク清掃をするためタンク内に入ったところ、長靴の上より廃液が入り、作業員が足に薬傷を負う。	指差し呼称で確認	2	2	6	Ⅲ (10)	適切な保護具(長靴)を使用	1	1	6	Ⅱ (8)			
清掃 (廃液)	タンク清掃をするためタンク内に入ったところ、足をどられ転倒し、廃液で作業員が全身に薬傷を負う。	指差し呼称で確認	2	2	6	Ⅲ (10)	ロープ式安全帯を使用	1	1	6	Ⅱ (8)			
清掃 (廃液)	廃液を中和するタンク内を清掃しようとした時、送気マスクを着用していないので、酸欠になる。	保護具の着用を義務化	2	4	10	Ⅳ (16)	作業手順書を見直し、再教育	1	2	10	Ⅳ (13)			
清掃 (廃油・化学)	ビット清掃作業時、底に溜まっていた有機ガスにより、作業員が中毒になる。	防護マスクの着用	1	4	10	Ⅳ (15)	・ガス検知器(マルチ型4ガス測定)による測定をする ・換気をする	1	2	1	Ⅰ (4)	H16 2/1	マルチ型ガス検知器のメーカーによる定期メンテナンスの実施	